

《学 校 教 育 目 標》  
心身ともに健康で，自ら学び，共に励み  
たくましく未来を生き抜く児童の育成

【めざす児童像】

- 心豊かな子供 【なかよく】
- 自ら学ぶ子供 【かしこく】
- たくましい子供 【たくましく】

基本方針

公教育の精神にのっとり、『杜の都の学校教育』の趣旨に基づき，児童の実態や地域の特色を踏まえ，一人一人の望ましい個性や能力を伸ばし，時代の変化に主体的に対応できる児童の育成に努める。

- ① 安心して過ごせる学校にするために，地域と連携による安全確保に努める。
- ② 確かな学力の育成を目指して積極的に授業研究を実施し，教師の授業力の向上を図る。
- ③ 地域の環境や施設等を積極的に活用するとともに，学校の様子を積極的に広報する。

【めざす学校像】

※子供が楽しみに登校し，楽しく学べる学校

- 安全で安心な学校
  - ・健康・安全で，元気いっぱい活動できる環境を整える
- 学ぶ喜びにあふれる学校
  - ・楽しく学び，分かる喜びを味わう授業を充実する
- 地域とともに歩む学校
  - ・地域の人々との交流を推進する

【めざす教師像】

※組織体として共有ビジョンをもとに行動し自らを高める教師

- 自ら学ぶ教職員
  - ・分かる授業、児童理解に基づいた授業の推進に努める教職員
- 使命感にあふれた教職員
  - ・人間尊重，教育職員としての責任を自覚し，教育愛に満ちた教職員
- 信頼される教職員
  - ・児童，保護者，地域の人々からの信頼に応える教職員

# 重点施策

◎は重点事項

	重点目標	努力事項
地域とともに歩む学校	地域の教育力の活用	○ 学びの連携の推進（地域の人材の活用） ○ 地域団体との連携による安全の確保
	評価を生かした学校づくり	○ 積極的な情報の公開（学校だより，Web ページ等） ○ 協働型評価の充実（あいさつ，ことばづかい）
新たな防災教育	学校防災体制の拡充	○ 災害対応マニュアルの改善と徹底 ○ 緊急時の家庭との連携（一斉メール配信等）
	<b>防災対応能力の育成</b>	◎ <b>副読本等を活用し，防災教育の日常化を図る。</b> ○ 多様な防災訓練の計画的な実施
豊かな心と健やかな体の育成	<b>心の教育の充実</b>	◎ <b>いじめ防止対策の徹底</b> ◎ <b>集団生活におけるさまりの指導</b>
	健康な体づくりの推進	○ 生命尊重と安全な行動の意識化・習慣化 ○ 新体力テストの結果を踏まえた基礎体力づくり
確かな学力の育成	学習指導の充実	○ 思考力・判断力・表現力を育てる学習の充実 ○ 基礎的・基本的内容の指導の徹底
	家庭学習の習慣化	○ 家庭との連携による基本的な学習習慣の育成 ○ 標準学力検査等の結果と対策の公表
自分づくり教育の推進	たくましく生きる力の育成	○ 望ましい人間関係づくりの推進（かかわる力） ○ 自分づくり教育年間指導計画の実施と改善
	仙台ステューデントシティの活用	○ 仙台ステューデントシティの活用方法の工夫及び実践
安全で安心な学校づくり	安全確保の体制づくり	○ 問題発生時の組織的な対応 ○ 地域の実態を踏まえた安全指導の徹底
	環境整備の推進	○ 校舎内外の安全点検の徹底 ○ 学習環境の整備・美しい学校環境づくり
教職員の資質・能力の向上	授業力の向上	○ 積極的な授業研究の実施（共同研究を中心に） ○ 個に応じた適切な指導と多様な指導方法の工夫
	信頼される教職員	○ 教職員が子供に向き合える体制づくり ○ いじめや体罰の未然防止・会計の適正な処理
個に応じた指導の充実	特別支援教育の充実	○ 一人一人の特性を大切にす配慮と家庭との連携 ○ 交流教育の充実と深化
	<b>国際理解教育の充実</b>	◎ <b>外国人児童及び保護者の理解と不安の解消</b> ○ 他国の文化や伝統を尊重しようとする態度の育成

# 平成30年度協働型学校評価の推進について

## 1 平成30年度協働型学校評価重点目標について

- すすんで あいさつができる子
- 正しいことばづかいができる子

## 2 重点目標設定の理由

テーマは「他者（相手）との関わり方」

本校児童の今日的な課題として、「相手意識を欠いたふるまい」や「場にそぐわないふるまい」をする児童が増えてきていることが上げられる。また近年、保護者のいじめへの関心の高まりとともに、「我が子がいじめの被害・加害者になるのではないか」という不安や心配が増大している。

このことから、平成30年度は「他者（相手）との関わり方」を基本テーマとして、“挨拶”と“言葉遣い”において重点目標を定め取り組むこととする。

## 3 具体的な方策

	すすんであいさつができる子	正しいことばづかいができる子
学級・学年・学校の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつに係る学級指導</li> <li>○ポスター掲示による周知活動</li> <li>○児童会や小中連携の取組 (あいさつタイム等)</li> <li>○教室や廊下、登下校時の声掛け（教職員による働き掛け）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科・領域において学年に応じた指導</li> <li>○道徳において「相手を思いやる」言葉遣いの大切さを指導</li> <li>○ポスター掲示による周知活動</li> <li>・学級において機会をとらえて声掛けを行い児童の意識付けを行う。</li> </ul>
家庭の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭でのあいさつの推進</li> <li>○子ども会の取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言語環境の整備・充実</li> <li>○子どもの話をしっかり聞く機会を設ける</li> <li>○家庭内でも相手を意識した会話を心がける</li> </ul>
地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登下校時の声掛け</li> <li>○防犯ボランティアによる積極的な声掛け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の行事の際に、子どもたちが話す機会を意図的に設ける。</li> <li>○防犯ボランティア等お世話になっている人に、気持ちを込めた感謝の言葉を伝える</li> </ul>

## 4 継続目標

「すすんで本をよむ」については、今年度も継続する。

《学校の取組例》

- ・読書タイムに係る学級指導
- ・読書タイムの活用
- ・図書時間の有効活用
- ・図書室利用の推進
- ・年間目標冊数の設定

《家庭の取組例》

- ・読書の時間確保
- ・読書ができる環境整備
- ・親子読書タイムの取組
- ・公共図書館の利用

《地域の取組例》

- ・「おはなしぼけっと」による活動
- ・地域施設（児童館等）における読書活動
- ・児童館における読書タイムの設定